

日本共産党 松山市議会だより 2021年 初夏号 3月議会報告

発行：日本共産党松山市議団 連絡先 市役所控室 Tel.948-6665 党事務所 Tel.947-2411 松山市立花1丁目3-44 生活相談はお気軽に



都市整備委員会
小崎 愛子



環境企業委員会
杉村 ちえ



「一日電話にかじりついたけどつながらなかった」「家族にネットで予約を取ってもらったけど、一番早くも8月末だった」――5月10日から始まった、65歳以上の方のワクチン予約で様々な声が寄せられました。希望する人がきちんと予約できるよう、情報の格差をなくし、ていねいな対応を求める要望書を届けました。

ワクチンへの期待がある一方、未知の問題も多く、社会全体での効果が確認されるにはかなりの時間がかかると指摘されています。「ワクチン頼

み」ではなく、感染対策を継続・拡大することが重要です。

新型コロナが怖いのは、無症状の感染者が知らず知らずのうちに感染を拡大するところです。「だれでも、いつでも、何回でも」検査を受けられるようにする必要があります。

3月議会直後から第4波が猛威を振るう中、検査拡大に消極的だった県と市は一転、PCR検査センターを設置。繁華街で働く「無症状」の方に無料でPCR検査を行いました。

すべてのワクチン接種希望者がスムーズに予約できるよう保健福祉部の石原副部長に要望書を手渡す、小崎市議と杉村市議（5月14日、松山市役所）



「早くもとの生活に…」の声にこたえる ワクチン、検査を早く、広く



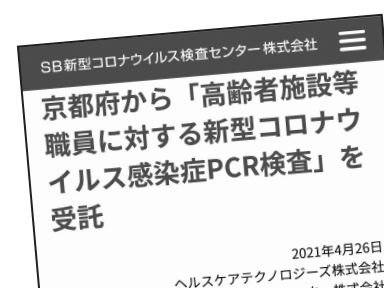
コロナ禍の女性に生理用品の無償提供を求める県議会と10市町議会の女性議員ら（4月30日、県庁）



市に、大規模なPCR検査と高齢者施設などの職員・利用者の検査を、これまで以上に拡充するよう要望する小崎市議、杉村市議と片岡朗党県コロナ対策委員会事務局長（4月14日、松山市役所）

民間の力も使って

ソフトバンクは子会社として検査センターを設置、3千円程度の唾液PCR検査を事業所や自治体に提供しています。民間検査機関を利用することも視野に、大規模な検査体制を。



ソフトバンク子会社のホームページより

暮らしの実態をつかんで有効な支援策を

学生のみならず、協力しています



繰り返される時短・休業要請は、地域経済も市民生活も疲弊させています。

中でも、パート・アルバイトの状況は深刻です。勤務が大幅に減っても、休業手当もなく「実質的失業」に。特に影響の大きい飲食・宿泊業では、非正規は76%にのぼり、その多くが女性です。

県や大学などと協力して実態把握と対策を強く求めました。



休業と補償はセットで!

市では、相談窓口の開設、無利子融資、休業協力金へのの上乗せなど、支援策を拡充させてきましたが、十分とは言えません。事業規模に応じた補償や持続化給付金の再給付などを求めて

いますが、多額の財源が必要で、市だけでは実施できません。政府を動かすことが不可欠です。ご一緒に声を上げましょう!

生活保護は権利です

長期的に生活再建の見通しが立たない場合は生活保護制度の利用を! 国も「生活保護申請は国民の権利、ためらわず相談を」と発信しています。

「家族に知られたくない」「車や家があったらダメなんやろ?」とためらっている方もいるのでは?

松山市では、家族への連絡は「関係性を聞きながら、個別の事情に応じて、必要性を判断」しています。昨年、保護申請した828世帯のうち、仕送り開始はわずか8世帯。

家や車があっても申請できます。実情に応じて車の所有や生命保険の継続も認められます。まずは相談を。私たちも同行します。

生活保護相談(面接担当) Tel.948-6395

気軽にどうぞ!

松山市の
相談窓口

- 女性相談室(コムズ) Tel.943-5770 実際「男性相談」もあるんです。専門の男性相談員がお聞きします
- 子どもや子育てに関する相談(子ども総合相談センター) Tel.943-3200 子どもでも大丈夫。
- いじめほっとらいん Tel.943-8740 MAIL soskyschien@city.matsuyama.ehime.jp
- 市民相談 Tel.948-6211 Tel.948-6690 月～金曜日8:30～17:00 若い方も、学生さんも、いざというときは、こちらを!

